

第3章 計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念(めざす地域福祉の姿)

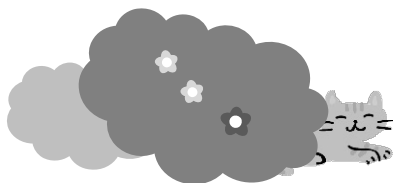
笑顔あふれる やさしいまち

ひとり暮らしの方、高齢者や若者、また障がいの有無に関わらず、誰も取り残されることなく、家庭や住み慣れた地域で、お互いに尊重しながらともに生きる地域社会を実現するためには、すべての町民が思いやりの心を持って、ともに支えあうことが大切です。

計画の推進を通して、

町民が地域での交流や日常生活の中でお互いに支えあうことで、

町で暮らすすべての人の**笑顔があふれる**
やさしいまちを実現することをめざします。



2 計画の基本目標

基本目標 1 互近助のつながり・交流が活発なまちづくり

地域福祉を推進するためには、町民同士のつながりや様々な世代、立場の人との交流による相互理解とつながりを深めることが大切です。

町民が、家族や近くの人、様々な活動の仲間、多様な立場の人と交流し、それぞれの立場を理解しあい、顔なじみのつながりを深めながら、お互いに助けあい、支えあうことができるよう、環境整備や各種活動の充実を図ります。

○私たちにできることは・・・？



町の広報紙や社協だよりから情報を知り、発信しよう！

ボランティア活動や福祉に関する講座に積極的に参加しよう！



基本目標 2 地域の福祉力強化に向けたしくみづくり

住み慣れた地域でいきいきと暮らすためには、健康で生きがいのある生活を送ることが大切です。

町内の誰もが、心身ともに健康で、それぞれの持つ知識や経験を活かしながら、自分らしく生活することができるよう、健康づくりや社会活動を、行政・関係団体が支援します。

高齢者、障がいのある人、引きこもり、認知症、生活困窮者など、町民からの相談は様々で複雑化しています。支援も課題も多岐にわたり、個々への対応でなく世帯全体を「丸ごと」として受け止める「地域の福祉力」を強化する必要があります。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるため、地域包括システムを深化・推進するとともに分野を超え、縦割りではなく、横断的に対応するしくみづくりに努めます。

○私たちにできることは・・・？



地域活動に積極的に参加しよう！

近所の人へあいさつや声かけ、困りごとの手助けをしよう！



基本目標 3 安全で安心して生活ができるまちづくり

安全・安心に暮らすことができるよう、地域の課題を総括的に受ける窓口の整備を検討するとともに、介護に取り組む家族などへの支援、認知症対策や権利擁護の推進を図ります。

また、災害などの緊急時においても安全が確保されるよう、防災対策や防犯対策などの取り組みを推進します。

○私たちにできることは・・・？



災害や支援者のことを、
町内会で話しあい、
情報の共有をしよう！

困りごと相談窓口を
教えてあげよう！



3 計画の重点項目(新たな地域福祉施策への対応)

重点項目 1 永平寺町らしい地域包括ケアシステム

超高齢社会を迎え、要介護・要支援認定者も全国で増加しており、それに伴い、家族介護、老々介護が増加しています。地方では、単身世帯、高齢者のみの夫婦が増えるなど、介助や支援を必要とする細やかなニーズへの対応が重要です。

「自分らしくいつまでも元気で暮らしたい」これは、すべての人の願いです。

介護が必要な状態になっても、自宅や介護施設などの住まいで「在宅医療」や「介護サービス」を受けることで、普段通りの生活を送ることができます。永平寺町立在宅訪問診療所を核として、地域でのサロン活動、介護予防のための健康体操、配食サービス、外出支援など生活支援体制を併せた「永平寺町らしい地域包括ケアシステム」の構築に取り組みます。

重点項目 2 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築

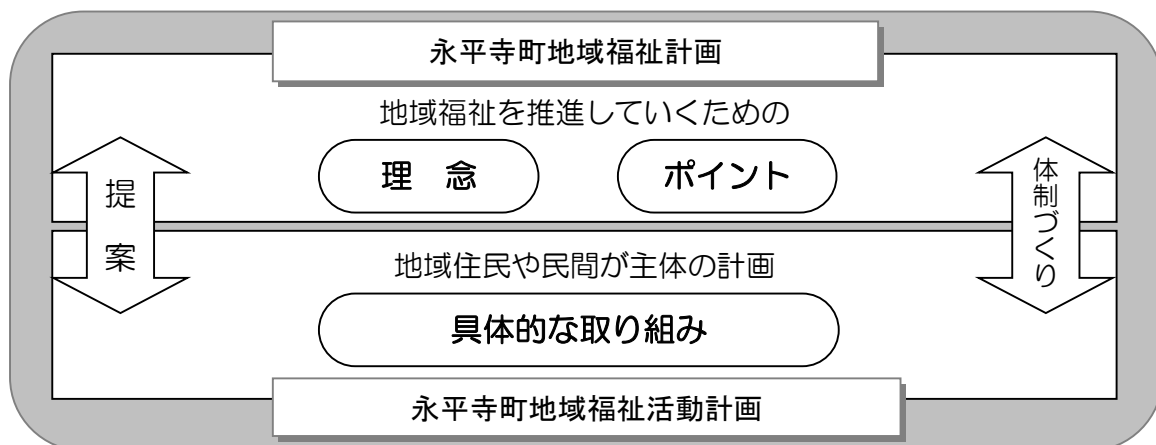
複雑で多様化する福祉課題、制度の枠に収まらない問題に対応していくためには、様々な課題に包括的に対応し、関係機関の連携のもと、総合的な支援を提供することができる体制づくりが重要です。

身近なところにおける相談窓口の充実や、地域での生活や福祉サービスに関する情報提供の充実を望む人が多く、緊急時や災害時を含め、支援を必要とする人を適切な支援に結びつけることができる体制づくりを推進します。

重点項目 3 地域福祉活動との連携による地域福祉の推進

地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む人、社会福祉に関する活動を行う人などが、ともに取り組んでいくための参画と協働のあり方と手法を示す計画である「永平寺町地域福祉活動計画」と連携し、地域福祉の推進に取り組みます。

■地域福祉計画と地域福祉活動計画の連携イメージ



4 計画の体系

基本
理念

笑顔あふれる やさしいまち

連携施策 第二次永平寺町総合振興計画 まちづくり基本目標2

「健康で心がふれあうやさしいまちづくり」

基本目標1 互近助のつながり・交流が活発なまちづくり

- 1 身近な福祉・知る福祉・みる福祉の充実
- 2 集まる・交流するコミュニティづくり
- 3 地域の担い手の養成と支援

基本目標2 地域の福祉力強化に向けたしくみづくり

- 1 地域情報の把握と共有
- 2 地域資源のつながりづくり
- 3 共生のしくみづくり
- 4 健康な暮らしを支えるしくみづくり

基本目標3 安全で安心して生活ができるまちづくり

- 1 防災・防犯活動の推進
- 2 相談支援体制の充実
- 3 バリアフリーとユニバーサルデザインの推進